

出雲崎
(出雲崎町)

生誕の地

出雲崎は、江戸幕府の直轄地「天領」として栄え、北前船も寄港して賑やかに人と物とが行き交った北国街道の宿場町。そこに、生まれ育った良寛の原点がある。

一七五八年、出雲崎町の名主橘屋の長男として生まれた良寛(栄蔵)は、十八歳で家を出て修行を始めた。二十二歳のとき、国仙和尚に随つて岡山県の円通寺に赴き、仏道修行に励む。三十四歳の時に師の国仙和尚が示寂すると、その後故郷を目指した。故郷に戻った後は、寺を構えることなく、空いた庵等で仮住まいし、托鉢行による清貧の生涯を通した。

8 良寛堂

大正11年に、良寛の生家橘屋の跡地に建てられた。日本画壇の巨匠安田靉彦が浮御堂をイメージして設計。堂の中に良寛の歌碑が、境内に以南句碑がある。

9 良寛堂から眺める佐渡

良寛堂の裏に母の生まれた佐渡を望む良寛像がある。



5 良寛記念館

良寛の遺墨と画壇の巨匠による絵画等を通して、温かい心の良寛に触れ合える。近代建築の巨匠谷口吉郎博士の設計により、昭和40年に開館。



時 9:00～17:00
休 4～10月 休館日なし 11～3月 毎週水曜日(祝日の場合は翌日)
料 大人400円 高校生200円 小中学生100円
※団体割引は20名より適用・入館料免除制度あり
電 0258-78-2370 駐 あり



6 良寛と夕日の丘公園

良寛記念館の並びにあり、「にいがた景勝百選の一位」に選定された公園。良寛像と詩歌碑がある。



14 北国街道妻入りの街並

家の「妻」方向に玄関のある建物が延々約4kmにわたって続く、全国的にも珍しい街並み。

15 妻入り会館

新築した妻入りの建物。気軽に立ち寄れる休憩所。

時 (4月～9月)9:00～18:00、(10月～3月)9:00～17:00
休 年末年始 料 無料 駐 あり 電 0258-78-3700



17 光照寺

良寛が得度して僧になった曹洞宗の寺。

19 道の駅 越後出雲崎 天領の里

出雲崎を再現した時代館や石油記念館、レストラン、物産館、夕風の橋(海上橋)がある道の駅。海を眺める栄蔵の像がある。



1 良寛の里案内パーク 出雲崎

出雲崎町の良寛の史跡を案内する立ち寄りスポット。良寛の詩碑や東屋がある。



7 石井神社

良寛の生家橘屋山本家が神官を務めた神社。大国主命を祀る。毎年6月17日に「出雲崎大祭」が行われる。



3 良寛の古道

良寛記念館の近くから西照坊に通ずる山道。春先には可憐な山野草が咲く。



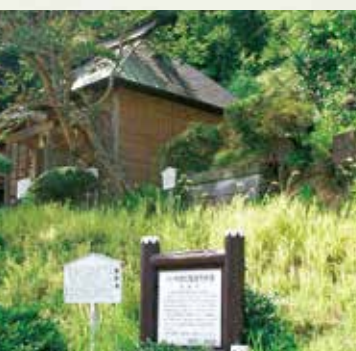
18 芭蕉園(敦賀屋跡)

名主・橘屋と対立した町年寄・敦賀屋の跡地は芭蕉園となっており、松尾芭蕉真筆の「銀河の序」碑がある。



22 蛇崩れの丘(旅立ちの丘)

良寛が出雲崎を旅立つ時、ここで家族、友人に別れを告げたという。良寛の詩碑がある。



2 西照坊

良寛が帰郷後に幾度かここに仮住まいしたという小さなお堂。良寛の歌碑がある。



21 獄門跡

犯罪人の極刑も執行された処刑場跡。榎の老木が当時を偲ばせる。



23 双善寺

良寛の詩を高く評価した大忍魯仙が出家した曹洞宗の寺。良寛の詩碑がある。

4 浄玄寺

良寛の末の妹みかが嫁いだ浄土真宗の寺。当時は海沿いにあったが、平成26年に現在地に移転。良寛の書簡の碑がある。

10 ちきりや跡、 12 木戸跡、 16 良寛逸話館、 24 赤坂山公園、 25 剣が峰 → 次頁の地図に説明文あり

